

「大規模土砂災害対策研究機構」 設立シンポジウム を開催しました

～那智勝浦町から大規模土砂災害への新たな取り組みが始まります～

平成23年台風12号において大規模土砂災害により甚大な被害が生じた那智勝浦町において、土砂災害に関する高度な知見を有する大学や研究機関との連携を図り、研究を推進することを目的に、国・県・町と大学・研究機関からなる「大規模土砂災害対策研究機構」を設立することとなりました。

本機構における研究活動の本格的な開始を記念してシンポジウムを開催しました。

1. 開会挨拶

森近畿地方整備局長および下和歌山県副知事からの主催者挨拶に始まり、二階衆議院議員、鶴保参議院議員、門衆議院議員ならびに政治評論家の森田実氏から御挨拶をいただきました。



二階衆議院議員 来賓挨拶



鶴保参議院議員 来賓挨拶



門衆議院議員 来賓挨拶



森田実氏 来賓挨拶



下和歌山県副知事 挨拶



森近畿地方整備局長 挨拶

2. 「大規模土砂災害対策研究機構」 設立の紹介



大野砂防部長 経緯紹介

大野砂防部長より、機構設立の経緯および今後の取り組みについての紹介を行いました。

開催日時：平成26年7月21日（月・祝）
13:30～16:30

会場：那智勝浦町体育文化会館
主催：近畿地方整備局・和歌山県・那智勝浦町
来場者：約2000人



会場（那智勝浦町体育文化会館）

3. 除幕式

機構の設立を記念し、機構構成機関ならびに来賓による機構看板の除幕式を行いました。



機構看板除幕式

4. 基調講演

那智山青岸渡寺の高木副住職から「那智山の自然と信仰」と題して、那智川流域の自然、台風12号災害の経験、今後の地域づくりなどについての貴重な講演をいただきました。



高木副住職 基調講演

5. パネルディスカッション

「大規模土砂災害への新たな取り組み」をテーマに、機構に参加する研究機関によるパネルディスカッションを行いました。



コーディネーター
国土技術政策総合研究所
渡土砂災害研究部長

ディスカッションでは、各機関において取り組んでいる災害防止の取り組みや研究成果を紹介いただき、今後重点的に実施すべき調査研究の方向性、機構で取り組むべき内容、期待される成果について御提案をいただきました。



北海道大学
笠井准教授



三重大学
山田教授



京都大学
水山教授



和歌山大学
此松教授



(独) 土木研究所
小山内土砂管理研究
グループ長



近畿地方整備局
黒川河川部長

6. 閉会挨拶

寺本那智勝浦町長より閉会の御挨拶をいただきました。



寺本町長 挨拶

○企画展示

屋外展示スペースにおいて、災害対策本部車両および分解型バックホウの展示を行い、多くの来場者の興味を引きつけ、好評を得ました。



災害対策本部車両および分解型バックホウ

「大規模土砂災害対策技術センター」設立 記念植樹式

シンポジウムの開催に先立ち、屋外スペースにおいて「大規模土砂災害対策技術センター」の設立を記念した植樹式を行いました。



技術センター設立記念植樹式

シンポジウムに御参加・各種御協力いただきましたみなさまに対してあつく御礼申し上げます。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
紀伊山地砂防事務所 工務課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681
TEL 0747-25-3111

